

個別最適化された教育・人材育成の実現

講師

秦 敬治(岡山理科大学 副学長・教育学部長)

1986年西南学院大学職員、2006年愛媛大学助教授～教授、2014年追手門学院大学副学長、2018年岡山理科大学副学長。専門は教育経営学(博士 教育学)。特に、高等教育経営で大学運営の在り方、教学マネジメント、教職員の能力開発、リーダーシップ論、コーチング等の研究・教育と実践を行っている。多くの大学でのFD・SDに加え、学生のリーダーシッププログラム開発・実施も行っている。また、大学や企業のコンサルティングを行うとともに、経営者・行政の管理職・市民向けのリーダー養成研修も多数、引き受けている。さらに、一般社団法人大学改新機構を設立し、全国の大学関係者とともに学生の成長にポジティブに関与するための教職員の能力開発と大学組織運営について、研究と実践を重ねている。

小松川 浩(公立千歳科学技術大学 理工学部 情報システム工学科 教授)

専門は情報工学、学習科学。大学eラーニング協議会会長。教育システム情報学会副会長。公立千歳科学技術大学 大学情報センター長、学長補佐(数理データサイエンス教育推進担当)。長年、eラーニング等のICT活用教育を通じた教育改革に従事して、他大学の外部評価委員も歴任。北海道Society5.0推進会議委員(人材育成リーダー)。

高橋 浩太郎(文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室 課長補佐)

2002年文部科学省入省。文化庁、生涯学習政策局(現・総合教育政策局)等を経て、2008年に高等教育局に着任、以降は一貫して高等教育行政を担当。高等教育企画課高等教育政策室、大学振興課、専門教育課、九州大学学務企画課長等を経て2021年より現職。

高等教育局では、中央教育審議会における政策立案や教務系業務に長く携わる。

コメンテーター

中井 俊樹(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 教授)

進行

仲道 雅輝(愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 副室長 准教授)

プログラム概要

新型コロナウイルス感染症拡大抑止のための世界的な人的交流の制限は、社会経済活動を停滞させ、大学教育にもさまざまな影響を及ぼしてきました。大学教育では、対面授業中止による学習機会の喪失を防ぎ教育の質を保障するため、ICT を活用したオンライン授業を推進するとともに、SDGs、カーボンニュートラル、DX、ダイバーシティ等の新たな考え方や技術を取り入れ、これらの課題に取り組んできました。今後も、新たな感染症の拡大、大規模災害等の危機の発生や人々が求める価値の変化により、大学が果たすべき役割も変化していくといえます。

本シンポジウムでは、秦敬治氏、小松川浩氏、高橋浩太郎氏をお招きし、このような変革が進む社会をけん引し、グローバルな視点を持ち、地域を支える優秀な人材を育成するために、大学教育や大学教職員が担う役割とはどのようなものか、また、変革を支える教職員の能力開発について、多様な視点から意見を交わし、アフターコロナを見据えた革新時代における大学教育の姿、個別最適化による教育・人材育成のあり方について、参加者の方々とともに理解を深める機会としたいと思います。

主な受講対象者

教職員(SPODフォーラム2022に参加される全ての方)

日時

8月25日(木)15時15分～17時15分